

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	8	権利擁護に関する制度について、成年後見人制度の理解と、把握が不十分で勉強会や学ぶ機会を作れてない。職員の中でも資料で個人的に理解する程度でそれを活用した支援や取り組みが出来ていない。	制度の理解と知識の向上 専門的な知識を持ち人権を確保した対応とケア	併設の介護老人保健施設で行われてる、権利擁護の研修に参加する。外部研修受講し、会議等で人権の周知徹底を図る	12ヶ月
2	38	一人一人の人格の尊重とプライバシーの確保	プライバシーの確保の徹底とケア	併設の介護老人保健施設で行われている、研修に参加し、会議等で、話し合い、職員全体で、プライバシーを守り人格を尊重した支援に努める	12ヶ月
3	1	職員一人ひとりが、入居者一人ひとりの思いを汲み取り、それを実現できるよう、理念具現化に対するさらなる取り組みを期待したい。	理念の具現化を図るため、右側の通り継続して各職員が自覚する	入居者の方々を中心に対応する事 職員中心ではない事と併せて、職員に周知徹底を図る。	12ヶ月
4	37	防災訓練は実施しているが、震災訓練は実施していない。地震での電気や水道が使えない時の対策、地域の協力など検討していただきたい。事業継続計画の策定をする中で、地域・自治会との連携強化に取り組んでいきたい。	定期的な防災訓練の継続を行い、並行して震災時感染症などの際の対応ができるようにする。災害時に、職員だけではなく地域の方々の協力もいただき、入居者の方の安全を守る。	定期的な防災訓練を行う。また、災害だけではなく感染症の蔓延などの予防、発生時対応手順の見直しと、情報の周知を行う。BCPについて、職員全体向けに勉強会を行い、危険箇所等の確認や災害時の気になる事を集約し話し合う。BCPに基づく訓練や設備、備蓄の確認と確保の見直しをする。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。